

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	6 0 3
		決裁期日	令和4年9月16日
名 称	教育委員会表彰審査会		
日 時	令和4年9月15日（木）18：00～19：30		
場 所	社会教育総合センター プレイルーム		
出席者	<p>【審査会委員】 稲毛社会教育委員長、仲島社会教育副委員長、北向社会教育委員、鶴谷社会教育委員、 小林文化連盟会長、松本スポーツ協会会長、鈴木校長会会長 7名</p> <p>【事務局（教育委員会）】 鈴木教育長、谷口教育振興課長、村上社会教育班主幹、島田主任、長谷山主事 5名</p>		
内 容	<p>進行：谷口教育振興課長 鈴木教育長挨拶</p> <p>令和4年度は19名2団体の推薦書が提出された。11月3日の表彰式にあたり厳正な審査をお願いしたい。</p> <p>会長の選任について 事務局提案の上、委員の互選により、稲毛委員（社会教育委員長）に決定。稲毛会長が議長として会議が進められた。</p> <p>1 各表彰の被表彰者の審査について</p> <p>○推薦 文化奨励賞 17件 スポーツ奨励賞 4件</p> <p>・資料1により、文化奨励賞、スポーツ奨励賞候補者の事績を提示した。</p> <p>○審査の結果 各賞推薦の21名は、推薦区分のとおり該当するとして意見を付し、教育委員会において審議を図ることとする。</p> <p>また、審査会委員より次のとおり意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会表彰において、特に奨励賞は事績を収めた方の激励という意をもつことは承知であるが、表彰基準である全国・全道大会入賞者の性質は大会規模や大会主旨などによっても異なるため、大会の参加者数や出場までの経緯（地区予選会の有無など）について、慎重に精査する必要があるのではないか。また、そのことについては各関係団体に推薦を依頼する段階で周知する必要があるのではないか。 ・入賞者の基準は大会によって異なり、大会要項等で定められた入賞順位を主に判断基準としているが、より受賞者の公平性が保たれるよう、判断基準の見直しが必要なのではないか。 ・事績の内容については推薦者の信用のもとで審査を行っている。大会の内容について精査する必要があるが、競技人口などにより大会規模が異なるのは当然であり、完全に統一された基準での審査は困難であること、また、激励の意をもって多分野での表彰を行うには現行の審査方法が相応しいのではないか。 ・審査会資料について、詳細の情報が確認できるよう改良を求める。 <p>以上の意見を踏まえ、審査会運営について見直しを図る。</p> <p>2 表彰式日程について</p> <p>日 時 令和4年11月3日（木・祝）午前9時～ 会 場 社会教育総合センター アリーナ</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策により来賓者数を縮小するため、審査委員長のみの案内だった。今年度については、町表彰の担当課である総務課と協議中である。</p> <p>3 その他 今後実施される大会等の結果により、表彰審査要綱に基づき表彰に該当するものは、本年度授与対象とし、追加で承認いただけるよう教育委員会で進めることの確認をした。追加があった場合は文書にて各委員にお知らせする。</p>		